

# 生成AIの可能性は無限大。 でも「人の力」が必要な 我々の仕事はなくなるらない。

春。フレッシュな気持ちで仕事に取り組んでいる人も多いのではないのでしょうか。

AI(人工知能)を活用する時代が来ても、必要とされる「人の力」こそが私たちが持つ「強み」です。

今号は株式会社三和サービス・林正和社長のインタビューをお届けします。

●継続中の指定管理施設についてはいかがでしょうか。  
社長 「大野町総合市民センター」では今年8月、大きなイベントの開催が続きます。新喜劇やクラシックなど町民をはじめ多くの方々に楽しんでいただけるように運営しますので、ぜひ皆さんもご参加ください。  
美濃加茂市にある「太田宿中山道会館」は、運営開始から一年が経過しました。ここでは飲食業務がある分、大勢のお客様が来られた時など大変な面もありますが、おむね順調に運営しています。こういった実績や、緊急時の対応を高く評価していただき、次の仕事につながっていることはありがたいことです。

●4月は年度変わりの月です。まずは社員の皆さんにうれしいニュースからお届けください。  
社長 はい、そうですね。いよいよ新年度が始まりました。トピックスとしては、三和サービスでは本年4月1日より公益財団法人かかみがはら未来文化財団からの包括委託を受け「各務原市文化会館」の清掃、設備管理、警備をスタートしました。  
また4月4日からは岐阜市若宮町にある「Gs Dream」の清掃業務も始まっています。この施設は今年創業10周年を迎えられた岐阜信用金庫さんの創業の地、若宮町支店跡地に構えた新拠点。岐阜市中心部を行き来される方なら、目を引く建物です。



●ビジネスでも活用が始まるのでしょうか。  
社長 そのとおりですね。最近では、生成AIはビジネスシーンで活用されていると聞きます。たとえば業務報告書などの文章を作成するのはお手のものです。文章だけではありません。画像や動画、音声などの生成も交えて、斬新なアイデアを盛り込んだプレゼンテーション(提案)を生成することもできます。これらを活用することで若い人がいうところの「タイパ」(時間対効果)・タイムパフォーマンスの略)にすぐれ、今までかかっていた作業時間を大幅に短縮できます。

これからは生成AIを使っていかないと取り残される。無駄なことに人力を注入しなくてよいように生成AIを活用していくことが必要になるのでしょうか。私はすでにそういう時代になりつつあるのかなと感じているところです。  
ただし、先ほども説明したように生成AIは正しい答えを目的としていませんから、真実ではない回答が返っ

●ビルメンは「人の力」が必要な仕事！ほっとしました。  
社長 そうですね。でも、残念なことには、いまは、人手不足の時代ですから、求人をしてなかなか人が集まらなくて困っています。現在、現場で活躍してくれている人たちは本当に貴重な人材なのです。  
ですから、現場の皆さんにこれからも頑張り続けていただくためには、とにかく健康だけは気をつけてもらいたい。それが私の願いです。  
以前にもお伝えしましたが、当社には社内の「従業員紹介制度」があります。仕事仲間を増やしていくために、ぜひご協力ください。

## 従業員紹介制度のご案内

従業員が紹介して採用になった時には紹介いただいた従業員に5000円を支給。さらに、採用者が6か月継続勤務された時には紹介いただいた従業員に15000円を支給します。



# ブライテス

B r i g h t n e s s

# ネス

三和グループ社内報[ブライテス]2025 春号

株式会社三和サービス

三和道路維持株式会社

株式会社エイチ エム エス

サンワ警備保障株式会社

<https://www.group-sanwa.co.jp>

96

●ところで最近ほどのようなことに注目されていますか。  
社長 それはやはり「生成AI」です。私自身、講演で生成AIについて聴講する機会が続いていますし、皆さんも毎日テレビや新聞で見聞きしている言葉なのではないでしょうか。生成AIは、今や子どもたちの教科書にも記述が増えている言葉ですから、すでにご存じとは思いますが、念のために説明しておきましょう。  
生成AIとは、AI(人工知能)の一種で、テキスト(文章)や画像、動画、音声などさまざまなコンテンツ(内容)を自動的に生み出すAIのことをいいます。  
従来のAIは主に分類や予測、検索などの作業を得意としていました。それは入力されたデータに対して正しい答えや最適な選択肢を出すことが目的だったからです。

膨大なデータをもとにしていくからで、そのデータに事実でないものも含まれている可能性があるからです。AIは無限に出てくるけれど、果たしてそれが正しいかどうか？信頼できるかどうか？を、人の目と頭で、常に確認する必要は出てくるでしょう。  
とはいえ、このデメリットさえ、すぐに解消されていくかもしれません。この世界は数か月であつという間に変わっていきます。その進化は誰にもわからない予測不能の世界。一気に精度が上がっていくと思われれます。

●なるほど。仕事が奪われてしまいそうです。(笑)

社長 確かに、そういう心配はあります。生成AIを実際に体験するとわかるのですが、それは人間と話しているのと変わらない様子であることに驚きます。生成AIで可能な役割は加速度的に増え、近いうちに、我々人間の仕事として成り立たない職業も出てきそうです。  
しかし、その一方で、人間の「筋肉」、つまり身体そのものを使う仕事はすぐにはなくなりません。私は感じていますが、介護ロボットのようには、たとえロボットが人間の代わりにすることができたとしても、今の段階ではビルメンタナンスの仕事は「人間の力」なくして成り立たない。私たちの力があつてこそ、と感じています。



# AIをどう使い、自分の力にしていくか?を考えよう

●三和グループ会長 / 林 信之



最近の社内報会長インタビューでは「愛染かつら」「君の名は」という昭和の二大メロドラマ、女優・高峰秀子について、会長の考察や思いをたっぷり聴くことができました。

今回の会長訓話もこのお話から始まり引き込まれましたが、誌面に限りがあるため、今号では後半のお話をダイジェストでお届けします。



先日岐阜信用金庫100周年記念講演で聞いた話や私が日々読む新聞、また現実に会社で起きている問題を取り上げたいと思います。それは人手不足という“言葉”です。今や日本全体の1億2000万人がやがて“江戸時代の人口”になる日も遠くないと言われています。特に生産人口の減少がおきていることは皆さんもTVまたは新聞雑誌等でよく見る記事ですね。

別の視点で話を進めると、自動車の自動運転レベル5(完全運転自動化)は50年代に実現すると言われていますが、私にはさらに早くなるように思えます。地球の多くの場所で実証実験が進んでいるようです。

人工衛星の打ち上げ通信速度の早まりにも増して、AIの普及は顕著で、新聞記事にAIを見ない日はなくなりました。AIは人工知能と訳され、AI専用の半導体ももはや出来上がっているようですが、人工衛星(位置情報)でcmからmmに進歩することは出来るのではないのでしょうか?すると自動車ばかりでなく電車の世界でも無人化になります。

それはすなわちロボット化です。自動車のロボット化は自動運転でありレベル5です。ロボットにはソフトが常に必要となり、個人個人の思考の動きによるロボットが誕生するでしょう。このように個人特有のロボットが多く誕生し、ロボット固有の動きを求める以上そのソフトが必要となり、そのソフトは個人が作る場合もあれば、ソフト売買がされることもあるかもしれない。それまでに少なくともロボット化が進む以上AIは必要となるでしょう。

いやAIはそれ以上に必要な道具となる。AIと言われる能力以上に“広く”“調べる”“組み立てる”能力を持つ“AI”が出てくるのではないのでしょうか。人間の感情をも読み取るロボットが生まれるかもしれない。10トントラックも10両以上の編成

の電車も1cmいや1mm単位で停止することなども、明日には出来る日が来ると考えねばならないと思います。

個人的生活も大きく変わるでしょう。振り返ると、携帯電話は最初、電話のみの動きでした。しかし現状は電話の能力以上にパソコン能力へと大きく変化をしています。これらのことを踏まえれば、小説世界も変え、そのうち人間の心も変えるかもしれません。悪くも良くも人間の感情の動きを感じること自体も変わってきています。文学の世界も変わる。『愛染かつら』『君の名は』という昭和の2大メロドラマも成立しなくなる。昨年の直木賞作品の『藍を継ぐ海』ようになることでしょう。

当分の時間の流れは物質的で動いていくと思うので、人口減を乗り切るには外国人労働者の力をあてにするばかりでなく、ロボット化も進みます。私たちはどのように考えようともこの進行を止めることもできない。それでも勝たねばなりません。敗者になれば死を意味するのです。AIをどのように使うのか?どのように自分の力にするのか?今からAIを利用する力を付けていきたいと思っています。

## サンワのWw!

作/三宅よしこ No.25



### 神戸町「ばらの里」“第3回ごうどラッシュ”結果発表。

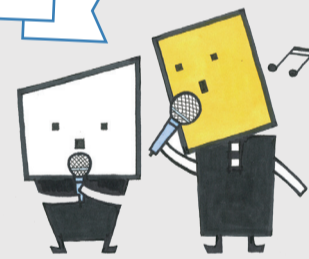
コロナ禍でも開催可能なイベントで、ばらの里や神戸町の観光施設、神戸かるたに関する質問に答え、応募すると、正解者の中から抽選で賞品がもらえます。町を知るために調査や訪問が必要で、回答用紙は「ばらの里」で回収。指定管理者、神戸町役場、関係団体が協力し、継続的なイベントとして発展を目指します。

#### ばらの里ごうどラッシュ

- 1位 樋口信子
- 2位 谷口トメ
- 3位 小川尚子

#### カラオケチャンピオン大会

- 1等 羽賀博子
- 2等 竹中京子
- 3等 福迫矢博

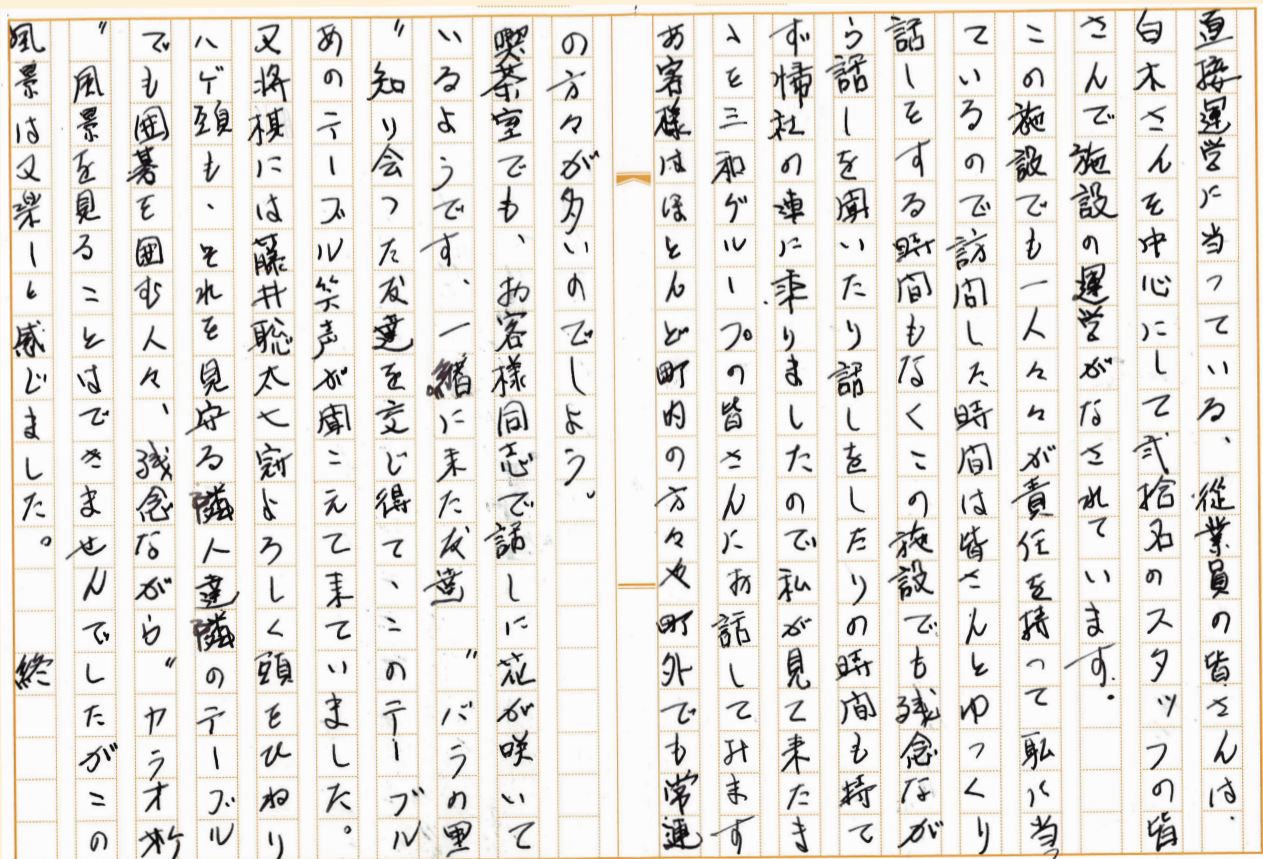


毎月第2日曜日にカラオケルームを開催し、点数上位2名がカラオケチャンピオン大会に出場し、チャンピオン大会を開催しました。

●2024年最優秀作品賞

**労働安全衛生標語**

見る目気づく目危険な芽  
あなたのその目で  
安全確認



### サンワ道中 膝栗毛

～神戸町ばらの里～

三和グループにまつわる町や施設を歩いてめぐる「サンワ道中膝栗毛」。今号は「神戸町ばらの里」へ。寄稿者はおなじみ湧泉美章さん。読者の皆さんへの愛情あふれるお手紙として受け取ってくださいね。



### 編集室から

2025年の春はトランプという名のカードが一人歩きして世界が混乱しています。敗戦後日本はアメリカの国にはなりません。それが良かったのか悪かったのかはわかりません。日本はアメリカとどう付き合っていくか悩まなければならない時代が来たのかもしれない。時代と共に世の中が変わるといいますが今がその時です。ITやAIの時代と言われていることが産業革命の時代と同じなのかもしれません。私にはわからないなどと言うのではなく、頑張って乗り遅れないように勉強しましょう!勉強して周りの方をびっくりさせましょう。

三和グループ社内報 2025年 春号(令和7年4月25日発行)  
発行所 株式会社三和サービス  
本社/〒500-8286 岐阜市西鶴1丁目52番地  
電話/058-273-5653(代)  
Brightness

**社内報への投稿を募集しています!**

どんな内容でも結構です。みなさんの投稿で社内報を盛り上げましょう!投稿希望の方は「投稿フォーム」またはお電話にてご連絡ください。

社内報投稿フォーム

本社「広報委員会」:TEL 058-273-5653(代)